

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	6 月	26 日	記入者	春日由広
調査者名	仲谷	小倉	安川	春日	

文化財名	小泉大塚古墳				
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ( )
指定年月日	1999年(平成11)3月19日				
所在地	大和郡山市小泉町字大塚1701				
所有者 管理者	奈良県				
員数	1基				
時代区分	古墳時代前期(3世紀末頃)				
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)	
案内板の状況	あり				
公開	見学は自由だが古墳内には入ることは出来ない。				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input checked="" type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足 ( )				
当面の課題	1962年(昭和37)の住宅の造成で前方部が破壊され後円部のみ保存されており、これ以上の破壊は無い。案内板の周囲は雑草が生い茂り定期的な管理が必要である。				
今後の課題	周囲が石垣で固められて、雑草が生い茂っているため、古墳に登り見学するのは難しい。かつての前方部の場所にはアパートが建っているが、誰も住んでいなかった。丁未の乱(ていびのらん 668年)で物部守屋を矢で射抜いて勝利を引き寄せたと伝わる「迹見赤檮(とみのいちい)」の墓の説を発信する説明板を希望する。				
その他 (由緒など)	全長88mの前方後円墳。後円部中央に長さ5.5m、幅1mの竪穴式石室があり、中から内行花文鏡、鉄剣、土師器などが出土した。銅鏡や土師器の型式から前期古墳の中でも、その前半に築かれた古墳と考えられる。(大和郡山市HPから)				
コメント	定期的な伐採などの管理が必要ではないか。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2020 年	6 月	26 日	記入者	春日由広
調査者名	仲谷	小倉	安川	春日	

文化財名	小泉大塚古墳
------	--------

南側	東側
----	----



西側	北側
----	----



案内板	
-----	--

